

【第一部パネリスト紹介】司会：片桐翔造（名古屋大SF研出身。《SFマガジン》などにレビューを執筆）

## 太田忠司（おおた・ただし）：名古屋市出身

名古屋工業大学卒。在学中に「星新一ショートショート・コンテスト」優秀作を受賞。その後サラリーマンの傍らショートショートを執筆する。1990年、初の長篇ミステリ『僕の殺人』刊行を機に専業作家となる。映画化もされた『新宿少年探偵団』をはじめ、ジュブナイルミステリを多く執筆。『ミステリなふたり』は2015年にテレビドラマ化されている。近作に『伏木商店街の不思議』（河出書房新社）がある。作者 Web ページは <http://homepage2.nifty.com/tadashi-ohata/>

## 大矢博子（おおや・ひろこ）：名古屋市在住

書評家。新聞・雑誌への書評寄稿の他、文庫解説多数。ブックナビゲーターとしてラジオ出演や読書会主宰、講演、イベント司会など名古屋を中心に活躍中。著書に『脳天気にもホドがある。』（東洋経済新聞社）、『読み出したら止まらない！ 女子ミステリー マストリード100』（日経文芸文庫）。野球好きで、著書の帯にドアラから推薦文をもらったことが自慢の中日ドラゴンズファン。（本の話 web より転載）

【第二部パネリスト紹介】司会：渡辺英樹（名古屋大SF研出身。《SFマガジン》などにレビューを執筆）

## 中村 融（なかむら・とおる）：愛知県豊橋市出身、在住

中央大学在学中より海外 SF の研究、評論、翻訳など幅広い活動を行う。1984年には評論「鏡の国の存在士」で SF ファンジン大賞評論部門を受賞。1987年にジャック・ヴァンスの「五つの月が昇るとき」で翻訳家としてプロデビュー。以降、新作の翻訳紹介、古典の新訳、SF/ファンタジーのアンソロジー編集など、多方面で活躍中。近刊予定に、ブラッドベリ『万華鏡』（創元SF文庫）、ヴァンス『切れ者キューゲルの大冒険』（国書刊行会）など。

## 太田貴大（おおた・たかひろ）：名古屋大学SF研究会会員

【第三部パネリスト紹介】司会：洞谷謙二（読書ブログ「お気らく活字生活」で本の感想などを紹介）  
道山千晶（読書/映画/美術鑑賞が好きな学生）

## 安田 均（やすだ・ひとし）：兵庫県神戸市出身。

京都大学法学部卒。SFの評論・翻訳で活躍し、SFゲームという切り口からゲームの世界へ。海外のゲームを一早く紹介するいっぽう、1987年にクリエイター集団グループSNEを設立。日本オリジナルのヒット作をつぎつぎと生み出す。日本におけるロールプレイングゲーム（RPG）の草分け的存在。

近年はボード/カードゲームの普及に力を入れている。メーカーとしても、数々のオリジナルゲームや翻訳ゲームを制作・販売している。

## 植草昌実（うえくさ・まさみ）

東洋大学文学部哲学科卒業。バブル景気に就職活動についていけず、洋書店でアルバイトをしつつ文芸翻訳と文筆業を目指す。1994年、初の訳書『宿命のブルンヒルト』（アンソニー・マンシーニ 創元推理文庫）を上梓。2005年からアンソロジー『異形コレクション』に短篇を執筆。2012年から《ミステリ・マガジン》や《ナイトランド》に短篇を翻訳し、コラムなどを執筆する。2013年、《予期せぬ結末》シリーズを企画し、ジョン・コリア、チャールズ・ポーモントなどの短篇集を扶桑社ミステリーより刊行する。2015年、《ナイトランド・クォーター》（アトリエサード）新創刊以降、主に掲載作品を翻訳している。

## YOUCHAN：愛知県西尾市出身、東京都在住

イラストレーター。名古屋総合デザイン専門学校グラフィックデザイン科卒。1988年にグラフィックデザイナーとしてのキャリアをスタートし、1991年よりフリーランスのイラストレーターとなる。2000年に有限会社トゴル・カンパニーを共同設立、現在に至る。主にSFを中心にミステリーやホラー小説のイラストレーションを制作している。また、子供向け書籍のイラストレーションや企業カレンダー等も幅広く手がけている。2016年より日本SF作家クラブ第23代事務局長に就任。

著書に、絵本『リトル・ベティー・ブルー 猫のマザーグース』（瑞雲舎/2003）、画集『ターコイズ』（書苑新社/2014）があり、共著に『カート・ヴォネガット 現代作家ガイド6』（彩流社/伊藤優子名義/2012）等がある。現在、セルビアの幻想作家 ソラン・ジヴコヴィッチ初の英語全集 The Zoran Zivković Collection\_（洋書/Cadmus Press/2016~）全20巻の装丁・装画を担当している。  
[www.youchan.com](http://www.youchan.com)